

【学校教育目標】「確かな学力 豊かな心 健やかな体」  
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り No.13  
令和8年7月1日発行  
文責 校長 梶原 康裕

キラ ・ ニコ ・ ドン ・ パツ



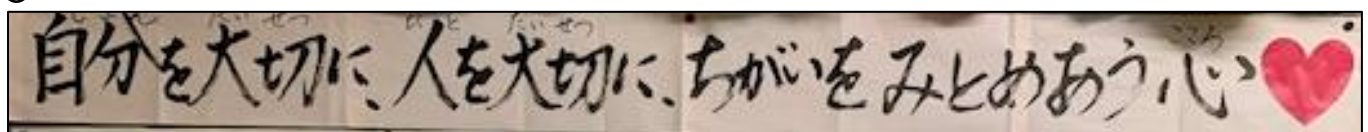
キラキラ輝く子ども ニコニコ笑顔の子ども ドンドン挑戦する子ども パツと行動する子ども

## いのちの意味と大切さ

先日、なかよし人権集会を全校児童対象に行いました。堤教頭先生が下の題字を示されました。（教頭先生、すごく達筆なのです！！）子供たちはどのような意味があるのかをよく知っており、教頭先生の問いに対してすぐに答えていました。右写真のように学期ごとにテーマが設けています。今回は、「いのちのおはなし」という絵本を使って、いのちの大切さについてお話しされました。日野原重明氏（享年107歳）が実際に行った授業について書かれています。絵本の中にも書いてあるように、聴診器を使って、自分や友達の心音を聞き合います。心臓は見えませんが、聴診器を使って確認できます。生きている間は、心音が途切れることはありません。「これから生きていく時間。それが、いのちなんです。」とても深い言葉です。あとがきの文章がとてもよかったので下記に紹介します。



「いのち」は、だれにでも平等にあります。1日1日の時間の中に、いのちがあるのです。その時間をみんなのいのちとして、大切にしてほしいのです。いのちを無駄にしないということは、時間を無駄にしないこととなります。人が生きていく上で、もう一つ大事なことがあります。それは「こころ」です。互いに手を差し伸べ合って、一緒に生きていくこと。心を育てるとは、そういうことです。自分以外のことのために、自分の時間を使おうとすることです。…（中略）「いのち」やいのちをどう使おうかと決める「こころ」は見えませんが、見えないものこそ大切にすべきです。



## 秋の収穫が楽しみです

イチゴ狩りでお世話になった井手農園さんのご厚意で、今年度も1、2年生で田植え体験をさせていただきました。前日から雨が降り続き、当日の朝も「難しいかな…」と教頭先生と話をしていましたが、8時ぐらいから雨も上がり、天気予報でも雨が上がる予報。予定通り、



ちよいそこバスに乗って出かけました。田んぼに入る子供たち、足がぬかるみなかなか思うように動けず、尻もちをつく子供もいました。しかし、そこが可愛いんですよ。みんなで協力して一区画苗を植え終わりました。10月下旬ごろ、稲刈りを行う予定です。